

2009年6月に公表された金融庁中間報告のIFRS(国際会計基準)導入ロードマップでは、早ければ2014年度にも国内上場企業に強制適用される可能性が示されており、

J-SOXを上回る影響が見込まれる中、IFRS導入による主要な課題を早期に把握することが重要となります。

～IFRS導入に向けた～

IFRS(国際会計基準) ショートレビュー

のご案内

ご活用のポイント

■ IFRS及びコンバージェンスと 現状の会計業務との差異分析

2007年8月のIFRSへのコンバージェンスの東京合意により、IFRSと日本基準との差異の解消が2011年6月まで継続されます。また、これと並行して、日本でIFRSそのものを採用するアドプションも検討が続いており、強制適用の時期も見えてきました。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(以下MURC)では、IFRSへの計画的な対応には、早期に、現状の会計業務との差異を分析し、自社の重要課題を把握することが必須条件と考えます。

■ 原則主義に対応した自社独自の 会計方針の検討

米国基準や日本基準は、様々な局面でのルールや基準を詳細な規程とする細則主義を採用していますが、IFRSは、細かい規則や数値基準は示さず、企業独自に判断すべきとする原則主義を採用しています。企業は従来以上に自ら定めた会計ルールを監査法人に主張しなければなりません。

MURCでは企業のニーズに合わせて、自社独自の会計方針の検討を強力にサポートします。

■ IFRS導入による業務プロセス、 情報システムへのインパクト分析

IFRS導入により、会計業務の変更に伴い取引ルールが変更された場合、業務プロセスを抜本的に見直す必要が出てきます。例えば、売上計上基準が出荷基準から検収基準に変更される場合、販売プロセスに顧客の検収完了情報を収集し、それを元に売上計上する見直しが必要です。また、従来のお荷基準に合わせた情報システムも変更が必要となります。

MURCでは、このような業務プロセス、情報システムへのインパクト分析の結果から、IFRS導入後の御社のあるべき姿をご提案いたします。

■ IFRS導入までのロードマップ案 の作成

IFRSのアドプション対応には少なくとも3年間の準備期間が必要となり、さらに、直近の対応が必要なコンバージェンスも踏まえて、計画的な対応が望まれます。

MURCでは、コンバージェンス対応、差異分析、インパクト分析などの結果から、企業の任意適用の開始や強制適用の時期から逆算して、担当部門ごとに必要な各工程についてロードマップ化いたします。

● IFRS導入の概略ロードマップ例

※適用初年度を2015年3月期とした場合

No.	項目	2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		2014年度	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
1	ショートレビュー:インパクト分析												
2	IFRS移行年度の決定												
3	IFRS移行プロジェクトのキックオフ												
4	会計基準差異の洗い出し:親ハイロフト												
5	IFRS対応の方向性検討:親ハイロフト												
6	会計基準差異の洗い出し:国内子会社												
7	会計基準差異の洗い出し:海外子会社												
8	連結範囲の拡大→子会社の体制整備												
9	会計方針の統一												
10	IFRS勉強会:関連部署												
11	運用手順の確立												
12	勘定科目の統一												
13	システム変更プロジェクト												
14	適及適用:親ハイロフト												
15	適及適用:子会社へ水平展開												
16	連結決算の早期化検討												
17	会計データの検証												
18	IFRS開始財政状態計算書の作成												
19	IFRSと日本基準の平行運用												
20	最新IFRSによる訴求適用												
21	RCMの修正:J-SOX監査の追加												
22	IFRSへ移行、報告												

任意適用の開始が決定。

強制適用の時期が正式に発表される見込み!(2012年春)

整備に手間がかかる時間が跳めない!

IFRS完全移行日 2014/4/1

IFRS報告 短信、有報

IFRS移行日 2013/4/1

● MURCのIFRSショートレビュー

ご契約	お客様の所にお伺いし、実施内容を確定の上ご契約いただきます。
資料のご提出	決算資料等の提出をお願いします。
ヒアリング調査(2日程度)	経理・会計部門へのヒアリングと資料の調査を実施いたします。
協議(半日)	現状調査資料やIFRS導入課題の仮説を基に協議をいたします。
経営者報告会(半日)	報告会は報告書に基づきプロジェクターなどを使って行います。

基本料金		100万円～(税別)(※)	
期間		1～2ヶ月	
成果物	報告書	現状分析結果	会計基準の差異分析
			業務プロセスのインパクト分析
			情報システムのインパクト分析
			ロードマップ案
		IFRS導入の主要課題	
		報告会	

※ 契約内容(対象子会社、個別調査項目など)により、追加費用を申し受ける場合があります。
遠隔地については、別途出張経費(交通費・宿泊費実費等)を申し受ける場合があります。

● お問合せ先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 <http://www.murc.jp/> e-mail: ifrs@murc.jp

- IFRS事務局 東京 〒108-8248 東京都港区港南2-16-4(マネジメントシステム部)
TEL 03-6711-1227 FAX 03-6711-1296
- IFRS事務局 名古屋 〒100-8114 名古屋市中区錦3-20-27(経営戦略部)
TEL 052-203-5323 FAX 052-232-0477
- IFRS事務局 大阪 〒541-8512 大阪市中央区今橋2-5-8(経営コンサルティング部)
TEL 06-6208-1236 FAX 06-6208-1237